

# トルコ地震と子ども絵画展



2022年2月1日(火) ~ 2022年2月26日(土)

## 概略

1999年8月と11月にトルコ北西部において大地震（マルマラ地震）が発生しました。被災地は、トルコ北西部全域にわたり、死者1万8千名、負傷者4万8千名を超える大きな被害となりました。

この地震にさいして、日本からトルコに対して多くの支援が行われました。兵庫県からも阪神・淡路大震災で使用した仮設住宅を送り、現地に「日本仮設村」が開設されました。

これらの支援に対するお礼として、2003年にトルコの子どもたちから絵画が送られてきました。その後、トルコの被災地では復興が進み、被災した人々も仮設住宅から恒久住宅へ移行し、新たな生活が始まりました。

トルコは、1999年の地震につづき、2011年10月にはトルコ東部地震、2020年10月にはトルコ・ギリシャ沖地震が発生しています。

トルコの子どもたちの絵画は、阪神・淡路大震災の記録と記憶を伝える「人と防災未来センター」（神戸市中央区脇浜海岸通）に寄贈されました。

子どもたちの絵をつうじて、災害の備えやたすけあいについて考えていただければ幸いです。

（展示企画 現代社会学部社会防災学科 水本ゼミ 2年次生）

## トルコ北西部地震



被災地域図（USGSから引用）

発生日・時刻	1999年8月17日午前3時2分/11月12日午後6時57分
規模	マグニチュード7.4 / 7.2
人的被害	死者18,243人、重軽傷者48,901人
建物被害	全壊93,152戸、半壊104,581戸、一部損壊120,520戸

1999年、二つの地震がトルコのマルマラ地域を襲いました。被災範囲は、東西250Kmにも及び、甚大な被害をもたらしました。なかでも、都市化が進展していた地盤の悪い海沿いの既成市街地で甚大な被害があり、中高層住宅の倒壊が人的被害を増大させました。

### 画材の贈呈式



### 贈呈を受けた子ども達



### 寄贈されたトルコの子どもたちの絵画



図書館ギャラリー展示コーナーで、ぜひご覧ください。



イスタンブール通り添いの家屋の倒壊

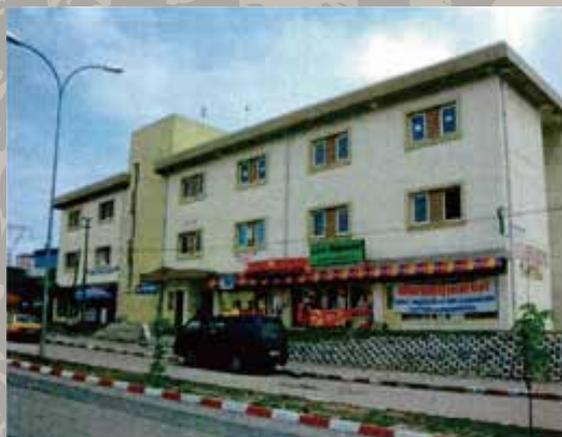


アタチュルク通り沿いの家屋の崩壊

## ユワジユク復興住宅団地



小中学校開校（2002 秋）



日用品店開店（2003～2004）



ユワジユク恒久復興住宅団地全景

### 参考文献

- ・人と防災未来センター資料室「資料室ニュース」VOL.39,2009年8月
- ・（社）日本建築学会『1999年トルココジャエリ地震災害調査報告書』2001年9月
- ・外務省トルコ基礎データ  
(<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/turkey/data.html#section1>)



### 人と防災未来センター

- 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2
- ◇阪神電鉄 岩屋駅、春日野道駅から徒歩約10分
  - ◇JR 灘駅 南口から徒歩12分
  - ◇阪急電鉄 王子公園駅 西口から徒歩約20分
  - ◇開館時間 9:30～17:30（入館は16:30まで）
  - ◇休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）  
年末年始の12月31日と1月1日